裾野市廃棄物減量等審議会

第1回













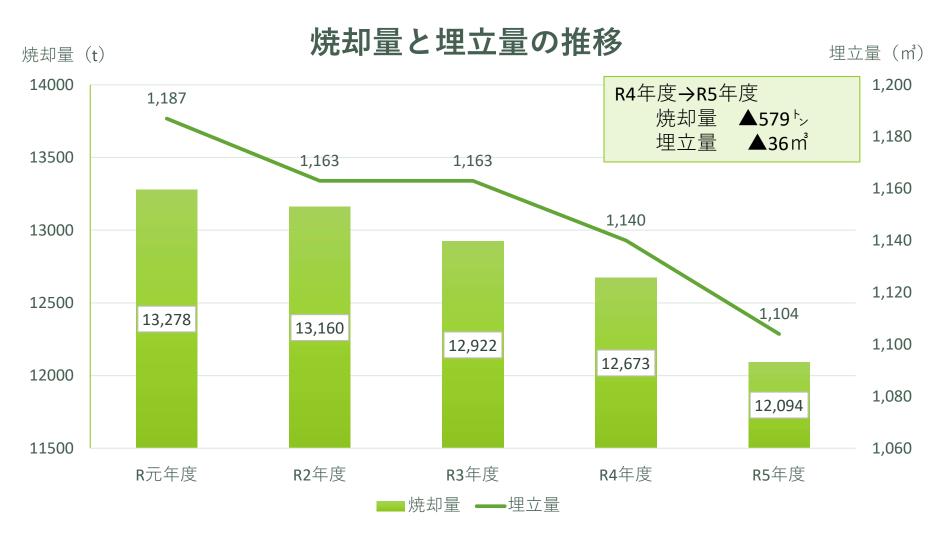


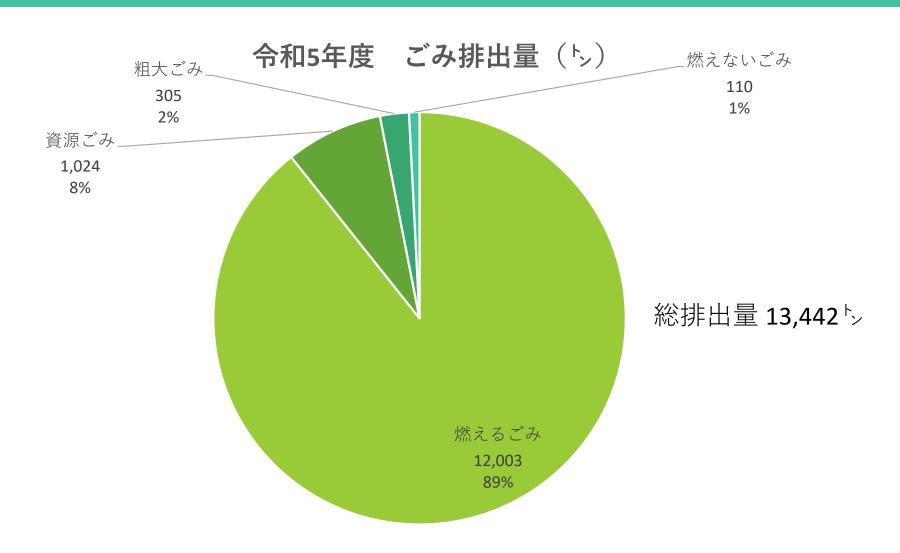
令和6年6月11日(火) 裾野市役所 402会議室 環境市民部 生活環境課

目次 Contents

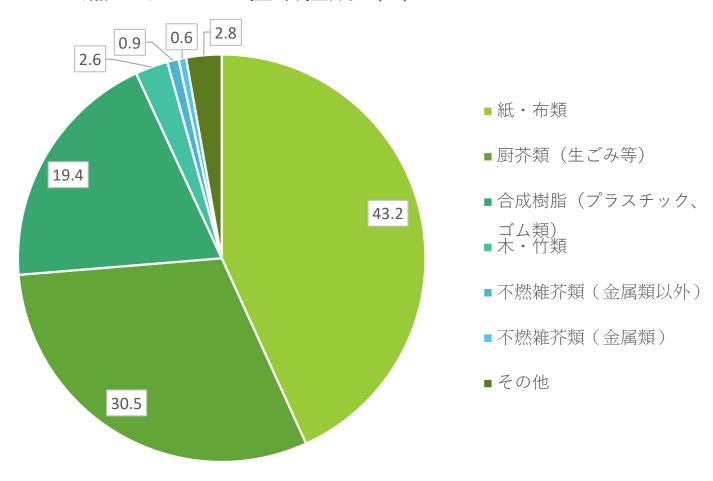
1.	裾野市のごみ処理の状況	3
2.	裾野市一般廃棄物処理基本計画	11
3.	資源化の推進	14
4.	ごみ処理有料化の導入	17
5.	今後のスケジュール	22
6.	日程	23





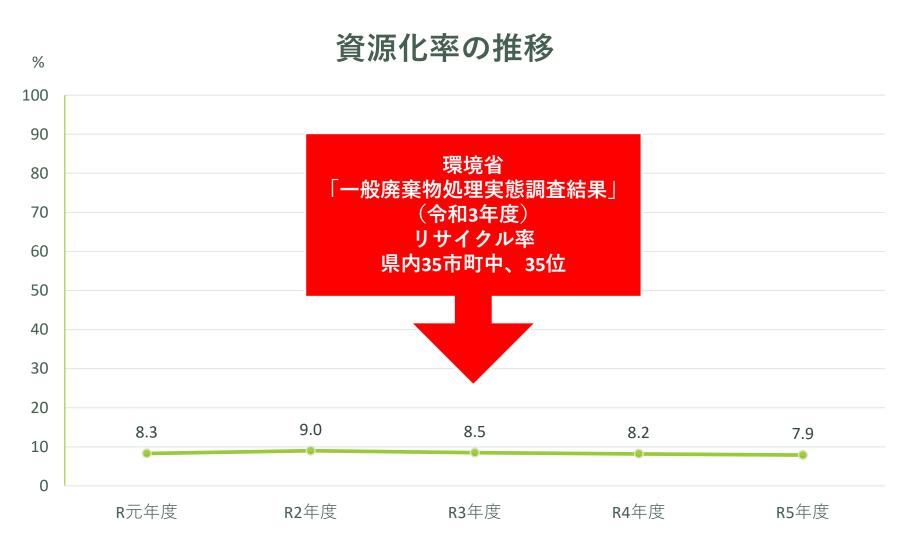


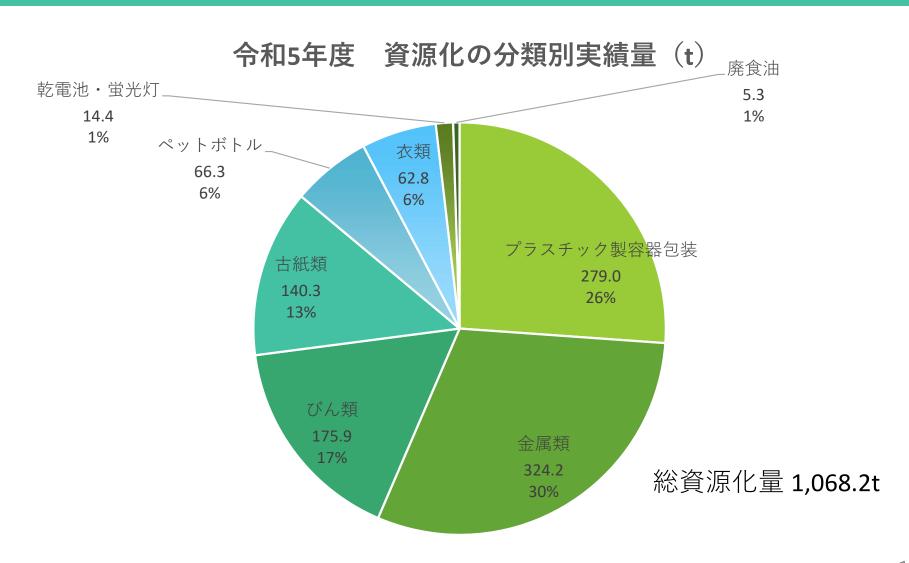












2. 裾野市一般廃棄物処理基本計画

• 計画策定の趣旨

市は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)第6条に基づき、区域内の一般廃棄物処理に関する計画を定めなければなりません。

行政、市民、事業者は相互の協力のもとに循環型社会の構築を目指し、さらなる ごみの減量化、資源化を推進することを目指します。

• 計画目標年度

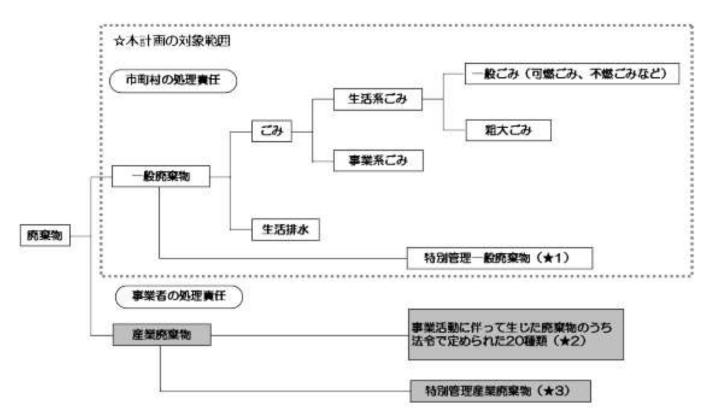


図1-3 計画目標年度と計画期間

2. 裾野市一般廃棄物処理基本計画

・計画の対象廃棄物

家庭から出しているごみも、事業所から事業活動に伴って出るごみも、この計画に基づいて収集運搬、処理、リサイクルされており、発生から最終処分に至るまでの基本的事項、具体的な施策などを定めています。



2. 裾野市一般廃棄物処理基本計画

発生抑制及び資源化に向けた取り組み

行政の取組

- 資源化の推進
- 有料化制度の導入検討
- 食品ロス削減の推進
- 教育・啓発活動の充実
- 事業者に対する減量化 指導の徹底
- 包装廃棄物等の排出抑制

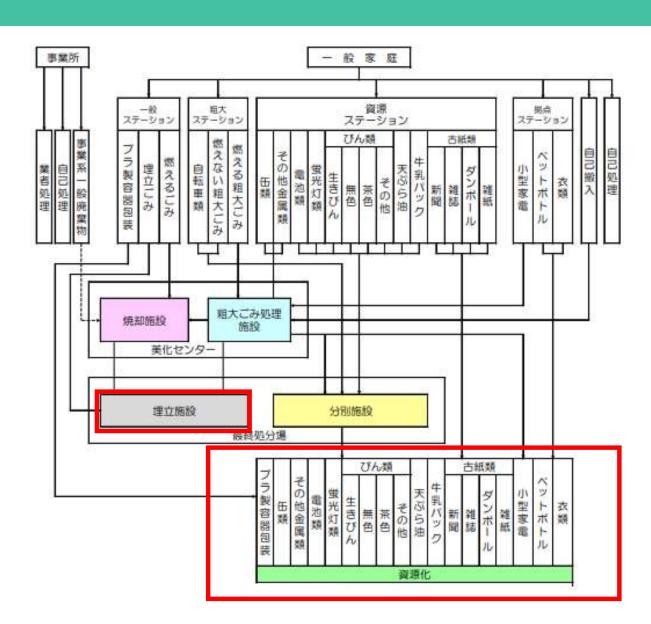
市民の取組

- 資源化の徹底
- 生ごみの減量化
- 使い捨て品の使用抑制、 再生品の使用

事業者の取組

- 事業系ごみの減量化・ 資源化の徹底
- 分別の徹底とリサイク ルルートの確保

3. 資源化の推進



3. 資源化の推進

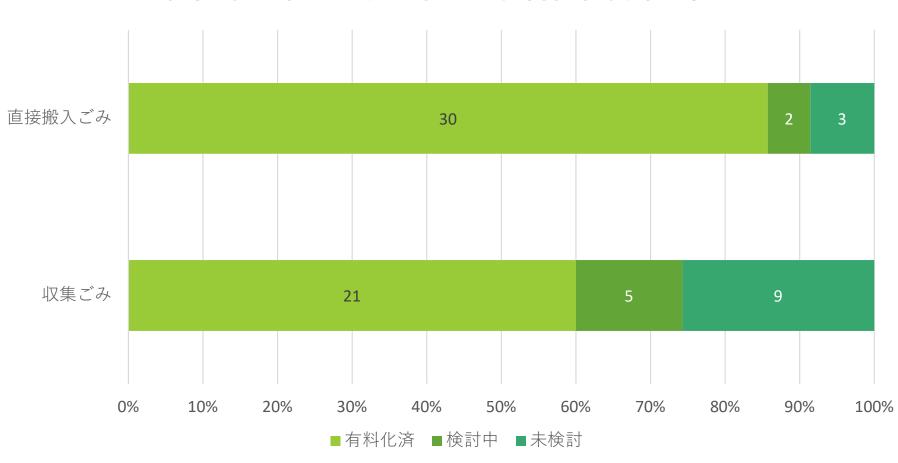
~裾野市で資源化しているごみの種類~

分別区分	主な品目・種類
プラスチック製容器包装	潜在の容器、食品ネット、食品トレイ、食品カップ、キャップ類、緩衝材、発砲ス チロールなど
古紙類	新聞・チラシ、雑誌、段ボール、紙パック、牛乳パック、雑紙(お菓子の紙箱、薬の箱、トイレットペーパーの芯、ラップの芯、紙製のハガキなど)
缶類	アルミ缶、スチール缶、海苔の缶、お菓子の缶
スプレー缶	カセットボンベ、ヘアスプレー、ペイントスプレー
その他金属	傘、オーディオ機器、家庭用ゲーム機、掃除機、体重計、時計、刃物類、油缶など
びん類	一升瓶、ビール瓶、調味料瓶、ジュース瓶、ジャム瓶、化粧品瓶、栄養ドリンク瓶、 果実酒の瓶など
てんぷら油	サラダ油、オリーブオイルなどの植物性食用油
電池類	乾電池、充電池、ボタン電池、コイン電池
蛍光灯類	蛍光灯、電球、水銀式体温計、温度計
ペットボトル	ジュース、お茶、しょうゆ、お酒等の空きペットボトル
衣類	シャツ、ズボン、ブラウス、セーター、子供服、制服、ジャージ、ぬいぐるみ、リュック、ベルト、バッグ、革靴、スニーカーなど
小型家電	携帯電話、スマートフォン、ノートパソコン、タブレット、左記製品の付属品 15

3. 資源化の推進



静岡県内市町の家庭系ごみ有料化制度導入状況



令和5年度 ごみ(資源)処理費の収支

収集運搬費

1億4,800万円

美化センター中間処理費 2億9,000万円

最終処分場最終処分費 5,300万円

資源化処理委託費 3,600万円

施設改良費

2億300万円

費用

収入

特定財源

6,200万円

7億3,000万円

一般財源 6億6,800万円 ごみ処理手数料

4,183万円

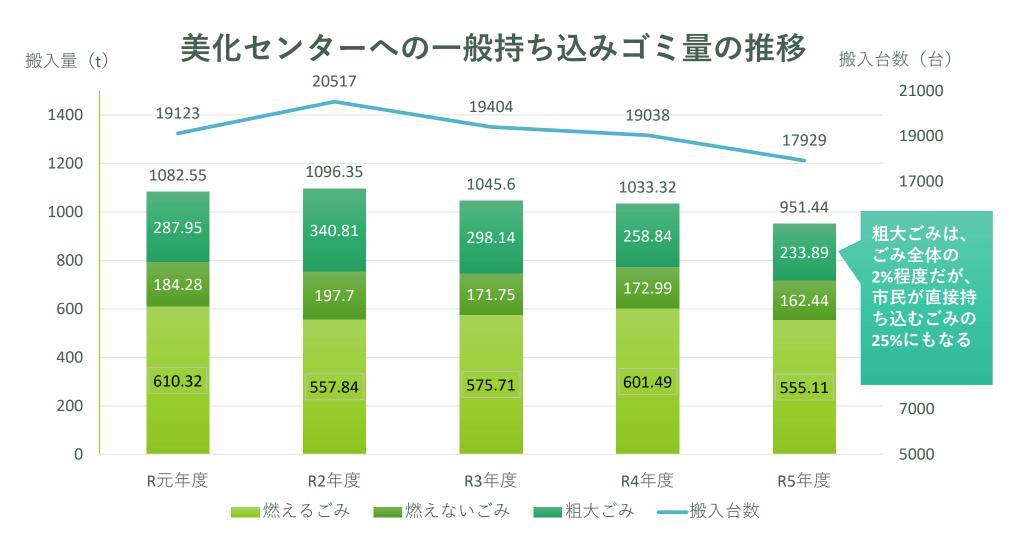
資源売却料

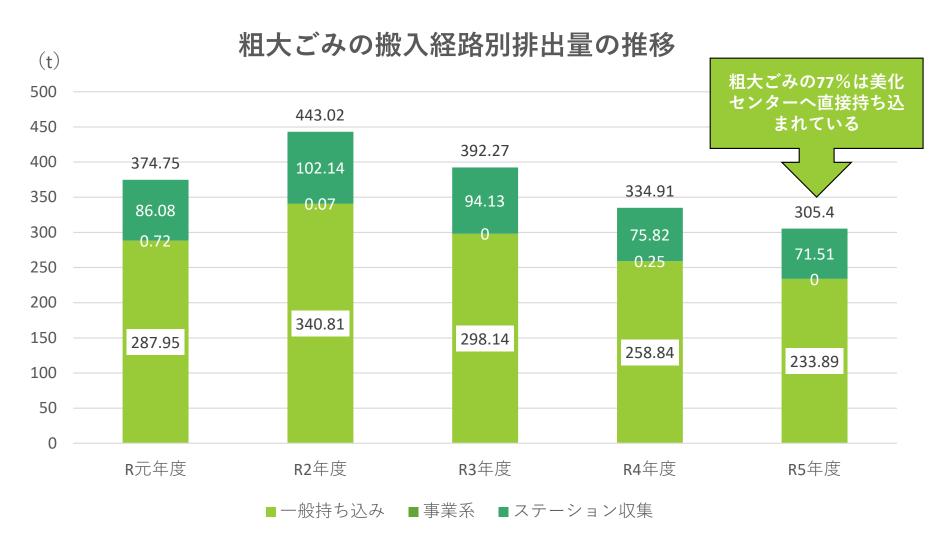
1,960万円

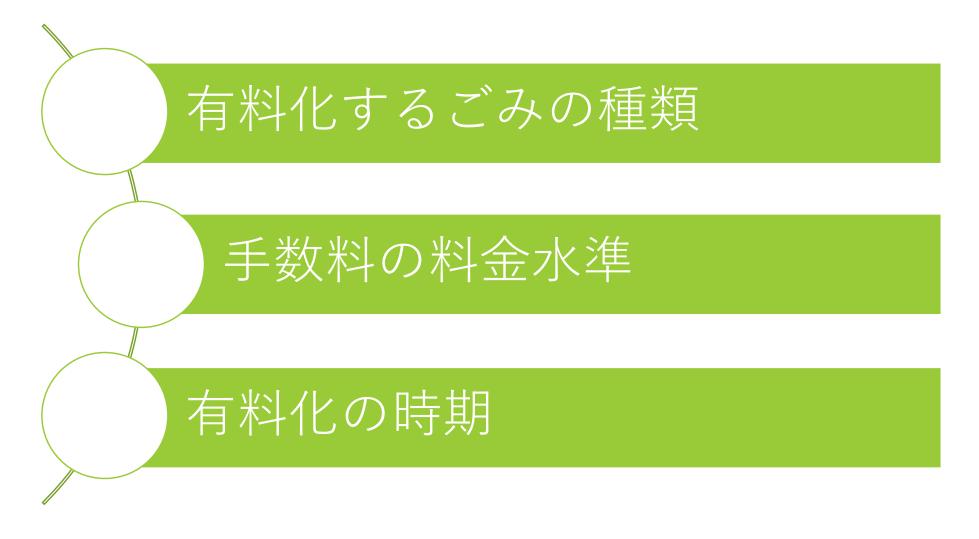
再商品化拠出金その他

40万円

市民一人当たりの ごみ処理費用 14,883円/人







5. 今後のスケジュール

第1回(6月)

- ごみ処理の現状確認
- 資源化の推進と有料 化に対する意見集約

第2回(7月)

- 資源化の追加品目の 審議
- ごみ処理手数料の金 額審議

第3回(8月)

• 答申内容整理